



# World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.33

Edition October 18<sup>th</sup>, 2016

## オセアニア選手権に参加

### オセアニア選手権・プレミアリーグ沖縄大会

9月から10月にかけて出張が続き、約1ヶ月ぶりのニューズレター配信となりました。

9月16日(金)より、ニューカレドニア・ヌメアにて、オセアニア空手道選手権大会に出席しました。大陸連盟の一つ、オセアニア空手連盟(OKF)主催による行事で、OKFは加盟国数が12と少ないものの、男子団体組手では強豪国のオーストラリアをニューカレドニアが決勝で破るなど大いに盛り上がりました。フランス領であるニューカレドニアは本国からコーチを招聘し、選手強化に力を入れているようです。

大会後、メルボルンにてOKFおよびオーストラリア空手連盟会長を務めるマイケル・カンス会長と、国際審判員を交えて会合を開き、その後ドイツのハンブルクでWKF東京2020準備委員会の会議に参加しました。

10月1(土)～2日(日)には、沖縄県立武道館(那覇市)で開催されたプレミアリーグ沖縄大会に出席しました。2016年のグランドファイナルであり、日本選手団が活躍し、多数のメディアに取り上げられた一方、今後の課題として外国人レフリーの参加が少ないという点が挙げられます。

### 第23回世界大会迫る

来週はいよいよ第23回世界空手道選手権大会(オーストリア)が開幕します。大会前の10月24日にWKF理事会、翌25日は加盟国会長を招集して年に一度のWKF総会が実施されます。

理事会では2020東京オリンピックの予選方法、組手の階級検討等、例年以上に重要な議題が集中しており、総会については理事会決定事項の承認はもちろん、任



OKFおよびオーストラリア空手連盟のマイケル・カンス会長(左)、ニューカレドニア連盟のニコラス・ヴィグノールス会長(右)と。

期満了に伴う会長選挙が行われます。

近年目覚ましい競技力向上を見せる各国選手がどのようなプレーを発揮するのか楽しみであると共に、来年「2024オリンピック種目選考」を控えるWKFとして、各国関係者との意思疎通・情報共有に力を入れたいと考えます。各会議、大会の様子は帰国後ニューズレターにてご報告します。

世界空手連盟 事務総長

奈藏稔ス

世界空手連盟 事務総長事務所

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館  
電話 03-3522-6673 FAX 03-3522-6675 kobinata@wkf-gs.jp